

# Dictionary オブジェクト について

## ☆ 準備

- ・ 参照設定をする場合  
「Microsoft Scripting Runtime」を参照設定する  
「Dim オブジェクト名 As Dictionary」  
「Set オブジェクト名 = New Dictionary」  
または  
「Dim オブジェクト名 As New Dictionary」
- ・ 参照設定をしない場合  
「Dim オブジェクト名 As Object」  
「Set オブジェクト名 = CreateObject("Scripting.Dictionary")」

## ☆ 比較モードを設定 (RW)

- ・ 「比較モード」を設定 [注意点：登録されている物が有るとエラーになる (宣言後すぐセットする必要有り)]  
「オブジェクト名.CompareMode = 比較モード」  
※ 比較モードについて  
「BinaryCompare」または「0」：バイナリ比較 (大文字・小文字、ひらがな・カタカナ、全角・半角を区別します) 【デフォルト】  
「TextCompare」または「1」：テキスト比較 (大文字・小文字、ひらがな・カタカナ、全角・半角を区別しません)

## ☆ 登録の有無の判定 (R)

- ・ 「キー」が辞書内にあるか調べる。 [有：True] [無：False]  
「オブジェクト名.Exists (キー)」

## ☆ 辞書に追加 (W)

- ・ 「キー」と「要素」を同時に登録  
「オブジェクト名.Add キー, 要素」

## ☆ 要素を抽出 (R)

- ・ 「キー」に登録されている「要素」を返す  
「MsgBox (オブジェクト名.Item(キー))」

## ☆ 要素を変更 (W)

- ・ 「キー」に登録されている「要素」を変更  
「オブジェクト名.Item(キー) = 要素」

- ☆ n番目に格納されている「キー」を返す (R) [注意点：参照設定のみ]
  - ・ 「インデックス」番目に登録されている「キー」を返す。 [注意点：インデックスは「0」から始まる]  
「オブジェクト名.Keys (インデックス)」
- ☆ n番目に格納されている「要素」を返す (R) [注意点：参照設定のみ]
  - ・ 「インデックス」番目に登録されている「要素」を返す。 [注意点：インデックスは「0」から始まる]  
「オブジェクト名.Items (インデックス)」
- ☆ n番目に格納されている「キー」を変更 (W) [注意点：参照設定のみ]
  - ・ 「インデックス」番目に登録されている「キー」を変更します。 [注意点：インデックスは「0」から始まる]  
「オブジェクト名.Key(インデックス) = キー」
- ☆ n番目に格納されている「要素」を変更 (W) [注意点：参照設定のみ]
  - ・ 「インデックス」番目に登録されている「要素」を変更します。 [注意点：インデックスは「0」から始まる]  
「オブジェクト名.Item(インデックス) = 要素」
- ☆ 登録数を調べる (R)
  - ・ 登録されている数を返す。  
「オブジェクト名.Count」
- ☆ 全てのキーを配列で返す (R)
  - ・ 全ての「キー」を配列で返す。  
「MsgBox (オブジェクト名.Keys())」
- ☆ 全ての要素を配列で返す (R)
  - ・ 全ての「要素」を配列で返す。  
「MsgBox (オブジェクト名.Items())」
- ☆ 指定したキーを削除 (W)
  - ・ 指定した「キー」の「登録」を解除  
「オブジェクト名.Remove (キー)」
- ☆ 全てを削除 (W)
  - ・ 全ての「登録」を解除  
「オブジェクト名.RemoveAll」
- ☆ 指定したキーを別のキーに変更する (W)
  - ・ 指定した「元キー」を新たな「先キー」に変更  
「オブジェクト名.Key(元キー) = 先キー」